

目次

口 序 凡例 絵

はじめに

第一章 山の生業

第一節 山のくらしと環境

一 三河の山

(一) 山地の特色……………16

三河の山ノ山の生業とその特色

(二) 山の四季とくらし……………18

山の春ノ山の夏ノ山の秋ノ山の冬

二 自然環境と生活空間

(一) 集落と屋敷……………22

日向と日陰ノ集落の立地ノ屋敷の立地

(一)	集落・屋敷から見た山の構成	26
(二)	近くの山と遠方の山ノソング	
三	山の所有と利用	
(一)	山の所有	28
(二)	私有林と共有林／共有林から割山へ／山地・屋敷地・耕地と所有／山の所有観念	
(三)	資源利用から見た山の分類／入会山と山の口明け／山の管理と入札／棚田と山田の管理／谷水と生活用水の管理／水利施設の管理	33
四	開発と災害	
(一)	開発と保全	38
(二)	山地の開発／資源の保全	
(三)	災害と対策	40
(四)	自然災害／獣害と防御	
第二節	山に生きる	
一	三河の山仕事	45
二	額田町千万町の山／山の保有と売買／立木の売買／伐採作業／山落とし／木馬／小出し／道路運送／植林と育成	50
三	奥山の大規模伐採	
四	山小屋／修羅出し／川狩／馬車と牛車／筏流し／山仕事と山の講	54
五	炭焼き	
六	美濃の炭焼き／地元の炭焼き／炭焼き窯／炭焼きの生活	

四 山の獵……………57

五 奥三河における馬の民俗
イノシシ獵／ツグミ獵／大多賀のカスミ網獵／鳴鳥の飼育／電照飼育／ツグミの売買

(一) くらしと馬……………61

馬のいるくらし／農業と馬／ヒクサとマヤゴエ／馬と餌

(二) 産馬と馬市……………64

馬の産育／馬市の様子

(三) 馬にまつわる行事と信仰……………67

馬をめぐる行事／馬にまつわる信仰／馬頭觀音とウマステバ

六 山の農業

(一) 稲作……………70

水田／稲の品種／灌溉水路／春田打ち／シバ刈り・ク口刈り／初浸けと苗田作り／初蒔き／田均し／苗取り／田植／田の水／田の草取り／ヒクサ刈り／稲番／稲刈り／稲干し／脱穀・調製／田を作る

(二) 畑作と現金収入……………84

畑仕事／夜畑打ち／ヤマガの養蚕／現金収入

(三) 焼畑……………88

ヤマツクリ／ダイコンヤマ

第三節 川と生きる

一 三河の川と生業……………93

愛知県の築漁／上り築と下り築／雑魚漁／雑魚漁の権利／ボンと殺生

二	天竜川水系と川の生業	97
	大千瀬川の築漁／大人の自給築／大千瀬川の出荷築／大千瀬川の築構造	
三	豊川水系と川の生業	101
	豊川の築／支流の築／笠網漁／淹番制度／笠網の由緒	
四	矢作川水系と川の生業	104
	築と紛争／矢作川の築／段戸の自給築／蛇籠の堰／広瀬の築／アユの出荷	
第四節	山をゆきかう人々	
一	馬と交通	108
	明治十年代の交通／船大工と車工／中馬と三州馬稼ぎ	
二	行商と旅芸人	110
	下津具の若松屋／行商人の活動／鎌・篩・陶器／鯉節・配置薬／情報の仲介者としての行商人	
三	山間の店	114
	山間の町場／田口の荒物商／足助の呉服商／作手の雑貨商	
四	矢作川の通運	117
	矢作川の舟運／矢作川の竹筏／竹の陸上げと需要	
第二章	平地の生業	
第一節	平地のくらしと環境	
一	三河の平地	122
	(一) 平地の特色	
	三河の平地／平地の生業とその特色	

	(一)	平地の四季とくらし	124
		平地の春／平地の夏／平地の秋／平地の冬	
二		自然環境と生活空間	
	(一)	集落と屋敷	128
		平地の地形／段丘・台地の集落と屋敷／沖積低地の集落と屋敷	
	(二)	方位と風位	132
		方位／風位	
三		土地の所有と利用	
	(一)	耕地・林野の利用	133
		土壌と利用／林野と生活資源	
	(二)	河川・湧水の利用	134
		堤防の管理／湧水・井戸と生活用水	
四		開発と災害	
	(一)	開発	136
		台地と新田開発／沖積低地と新田開発	
	(二)	災害と対策	139
		風水害と旱魃／豊川の霞堤／水止めの差し板／水防集落	
第二節		田畑のなりわい	
一		低地の農業	
	(一)	低湿地の稲作	144
		低地の河川と用水／低湿地の水田とコシメ／肥料／湿田の耕作	

	(一)	低地の畑作	150
		低地の畑作物／湿田の裏作と高畝／微高地の常畑／低湿地と島畑	
二		台地の農業	
	(一)	ため池依存の稲作	154
		西三河台地の農村／台地の稲作の原風景／ため池の利用と管理／「米と蚕」の弱点	
	(二)	「日本デンマーク」の農業	159
		多角的農業経営／肥料と牛／「養鶏碧海」／カミノボリと水番／トヨタの進出と農業の変化	
三		農間仕事	165
		養蚕／桑苗の接ぎ師／西尾の植木／幡豆石の切り出し	
第三節		市と職人の世界	
一		行商と市	172
		行商／定期市／豊橋の四九市／岡崎の二七市／岡崎のその他の市／市商人の出店行動／消滅した市／知立の弘法市	
二		鋳物師	182
		金屋地名／三河の鋳物師／辻鋳物師と共同祈願／鋳物職人の生活	
三		鍛冶	186
		大野鍛冶／東三農鍛冶組合／西尾幡豆鉄工組合	
四		平屋と犁屋	190
		農具の柄／犁屋	
五		瓦師	191
		三河地方における瓦製造の沿革／原材料／製造工程／信仰	

六 石 工 193

岡崎の石工業の概要 / 石材 / 加工工程 / 製品と販路 / 職人の生活

第三章 海の生業

第一節 海のくらしと環境

一 三河の海 198

 (一) 海岸地の特色 198

 三河の海岸地 / 海の生業とその特色

 (二) 海の四季とくらし 200

 西の浜の春 / 西の浜の夏 / 西の浜の秋 / 西の浜の冬

二 自然環境と生活空間 205

 (一) 集落と景観 205

 海と浜 / 集落景観

 (二) 気象と天文 209

 風位名 / 風と季節 / 漁師が恐れる風 / 潮流と方位 / 風と波 / 潮流と魚

三 海岸地の利用と管理 215

 網場と魚見場 / 浜と磯の口明け / 山の口明け / フナタテと燃料 / 魚付林 / 山繋ぎ

四 開発と災害 222

 (一) 海岸地の開発と災害 222

 干拓新田の水害と塩害 / 海岸の浸食と防波堤

	(一)	海の開発と災害	224
		海難事故と救助／海の開発と汚染	
	一	三河の漁業	
	(一)	内湾と外海の漁業	227
		三河湾と太平洋	
	(二)	打瀬網漁	228
		愛知県型打瀬船／朝鮮半島への出漁と移住／打瀬船の変遷／漁場・漁期／打瀬網とヨコタマンガ	
	二	渥美半島の地曳網漁	
	(一)	網元の家が固定していた組	232
		網元の三タイプ／渥美町中山	
	(二)	網元が選挙で交代した組	235
		豊橋市伊古部／田原市高松／渥美町和地／豊橋市東赤沢／田原市赤羽根／田原市池尻／渥美町宇津江	
	(三)	家族を単位とした組	242
		田原市白谷／渥美半島の地域差	
	三	佐久島のナマコ漁	
	(一)	佐久島の漁業	244
		いろいろな漁	
	(二)	ナマコ漁	245
		江戸時代のナマコ／漁期／ナマコの分類／漁場／二つのナマコ漁／カケゴ／ナマコヒキ／漁獲手順／漁獲活動／ネドコ	

(三) ワタ取り……………255

ワタ取りの作業／出荷

四 漁と信仰

(一) 漁民の信仰……………258

豊川参り／青峯山／弁天／竜神／恵比須

(二) 網元と儀礼……………263

網元の信仰／網元と模擬漁撈

(三) 初漁・大漁の儀礼……………266

初魚の奉納／ハダカマイリ／大漁祝いとボンテン

(四) 御津神社のイカマツリとイカ漁……………268

イカマツリと大塚漁民／三河湾のイカ漁／大塚のイカ漁

第三節 海辺のなりわい

一 半農半漁のくらし……………271

半農半漁／塩を焼く農民／海からとる肥料

二 豊川河口の海辺のくらし

(一) 豊橋市前芝の生業複合……………276

海と川を結ぶ港／低地農業と海／前芝の海産資源と肥料／渥美湾岸のモクトリ／渥美湾岸の貝類

(二) 河口漁業の恵み……………284

ハマグリと白魚／クルマエビとウナギ

(三) アサリと海苔……………287

ハマグリからアサリ／浅海域の民具／海苔養殖の展開／海苔養殖と前芝の一年

三 海岸農村と塩業

(一) 新田と塩田……………295

干拓新田と塩田／海岸農村と塩田／干拓新田と耕地

(二) 製塩とくらし……………298

塩田の構造／塩田の管理／製塩の技術と慣行／塩の納入と検査

第四節 海でつながる人々

一 港と航路……………305

浦廻船と三河の港／三河湾の航路／昭和二十五年頃の港

二 海運業……………307

佐久島／寺部

三 造船業……………308

造船所／形原の造船業／三谷の造船所／平坂の造船所／進水式

四 港のくらし

(一) 平坂港……………312

平坂港／機帆船の入港／平坂港の衰退／石炭と屋根瓦／石炭商と馬方／海を渡る薪炭と煉瓦／

泥と砂の採取

(二) 福江港……………317

福江の繁栄／臼から農業機械へ／福江のだんべ船／伊勢に向かう「お糸船」／福江に来た人々

第四章 衣食住

第一節 暮らしのなかの衣

一 着もの

(一) 儀礼用衣服	322
着もの呼び名／婚礼の衣装／喪服	
(二) 外出用衣服	324
よそいき着もの／男もの／女もの／チョイチョイ着もの／男もの／女もの	
(三) 普段用衣服	328
ふだんの着もの／男もの／女もの	
(四) 仕事用衣服	332
仕事の着もの／男もの／女もの	
(五) 幼児の着ものと付属用具	336
幼児の着もの／子守り用具／付属用具	
二 被りもの・履きもの	
(一) 被りもの	341
帽子類／頭巾類／笠・蓑類／手拭い	
(二) 履きもの	346
下駄類／靴類／草履類／足袋類／仕事用／履きものの扱い	
(三) その他	350
傘／手甲、腕貫類／手袋類／マント類／衿巻類	

三 寝具と付属用具

(一) 寝具.....352

呼称と素材 / 敷布団 / 掛布団 / 夏布団 / 裂織布団 / 藁布団 / 箱枠方式の寝具

(二) 付属用具.....356

敷布類 / 毛布類 / 掻巻類 / 寝巻類 / 枕類 / 蚊帳類 / 座布団類

四 仕立てと管理

(一) 仕立て.....359

和裁 / 仕立ての伝承、禁忌など / 洋裁 / 手芸

(二) 収納.....363

箆箭 / 長持

(三) 洗濯.....364

盥など / 洗濯の場所など / 洗剤 / 時間と回数 / 布団の手入れ / 物干し場 / 洗い張り / 寝押し /

洗濯の伝承、禁忌など

五 髪型と装飾用具

(一) 髪型.....369

幼児の髪型 / 男の髪型 / 女の髪型 / 髪の手入れ

(二) 装飾用具など.....372

化粧と装身 / 髪への伝承、禁忌など

六 機織りと繊維素材

(一) 機織り.....374

家織り / 木綿機 / 絹機

(二) 繊維素材と染め……………376

第二節 ハレとケの食

一 食と地域……………380

 日常の食べ物／一日の食事／特別な日の食べ物

二 日常の食

(一) 主食……………384

 麦飯／混ぜ飯／粥と雑炊

(二) 代用食・間食……………388

 雑穀／小麦／イモ／餅・ボロ・ヘギ／木の実

(三) 副食……………393

 汁／漬け物／ナメミソ／野菜／山菜／海魚／川魚／鶏肉・獣肉／海藻／昆虫

(四) 調味料……………401

 味噌・たまり／塩／砂糖／だし

(五) 食事の慣習……………403

 炊事と食事の場所／平野部の取水と排水／山間部の取水と排水／燃料／膳

(六) 食糧の保存……………407

 保存食／救荒食

三 特別な日の食

(一) 餅……………409

 餅をつく日／正月の餅／雑煮／モチバナ／その他の餅

(一) 節供の餅と饅頭..... 412

三月節供／五月節供

(二) 折々のごちそう..... 416

・ばた餅／団子／五平餅／赤飯・小豆飯／寿司と魚／味ご飯／盆の食事／その他のごちそう

第三節 風土と住まい

一 奥三河の住まい

(一) 交差する間取りと住まい..... 421

間取りと水系／四六の間取りと住まい方／花宿の利用

(二) 古戸の木と住まい..... 426

くらしを支えた木／杉皮の屋根替え／杉皮葺きから瓦葺きへ／杉皮の利用と技術／燃料はシデが中心

(三) 三河山間地域の水とコイ..... 430

古戸の使い水／洗い場とコイ／山間地域のコイ／コイの販路と行事食

(四) 遠州につながるコヤ..... 433

コヤの建物／遠州へのコヤの広がり

二 豊川流域の釜屋建

(一) 二棟造りの広がり..... 436

釜屋建／釜屋建の広がり／黒潮と二棟造り

(二) 中宇利の釜屋建..... 441

共有山の植林／釜屋建と養蚕／トイヤベと雨漏り／茅屋根と瓦屋根

(三) 釜屋建と空間利用..... 444

釜屋の利用／本屋の利用／屋敷の利用

三 家庭風呂と共同浴場

(一)	古戸を中心とした家庭風呂	448
	家庭風呂の変化／家庭風呂の苦勞／風呂水の利用	
(二)	戦前のもらい風呂	451
	楽しみだったもらい風呂／若者が集まるもらい風呂	
(三)	駒形の共同浴場	453
	駒形の共同浴場／共同浴場の時空間	
(四)	共同浴場の盛衰	457
	辻風呂から共同浴場へ／シマと共同浴場／家族風呂／沿海文化と共同浴場／銭湯と共同浴場／共同浴場の水と燃料	
(五)	交流の要	464
	情報センター／脱衣室での交流／子供時代の記憶／近代一〇〇年の共同浴	

第五章 社会生活

第一節 三河山地の家と村落

一	西三河高原の同族と祭祀	
(一)	旭町浅谷のカモンとウジガミ	470
	カモンとウジガミ／同族／浅谷のカモン／葬式組／墓地と墓制／オキモリ／八王子神社の伝承	
(二)	浅谷周辺地域の同族組織	475
	須測のカモン／小原村のイッパ／山の神の祭祀	

	(二) カモンとウジガミの性格と機能	476
	カモンの構造 / 共有地 / ウジガミの立地 / 草分け伝承とウジガミ	
二	東三河山地の同族と祭祀	
	(一) 南設楽郡のジルイとジノカミ	478
	東三河地域のジルイ / 作手村田代 / 作手村見代 / ジノカミの祠と祭祀 / 作手村東高松 / 鳳来町川合	
	(二) ジルイとジノカミの性格と機能	485
	ジルイの構造と機能 / ジノカミの祭祀	
三	奥三河の入会出郷	487
	入会出郷と入り混じり村 / 入会出郷の歴史 / 東栄町の本郷と枝郷 / 入会出郷としての新畑 / 豊根村の本郷と枝郷 / 入会出郷としての小田	
第二節	西三河平野の同族と村落	
一	イットウと親族	493
	イットウの機能 / 豊田市中根のイットウ祭祀 / 岡崎市中之郷のイットウ祭祀 / 刈谷市高須のイットウ祭祀 / イットウの構造 / イットウの変化 / 親族とイットウ	
二	村落と用水	
	(一) 村落と諸集団	501
	村落の運営 / 近隣組織	
	(二) 用水と社会	504
	明治用水と枝下用水 / 用水の導入 / 用水の負担	
第三節	東三河平野・渥美の家と村落	
一	同族と祭祀	

(一)	ジルイとイットウ	507
(二)	東三河平野東部のジルイ／渥美半島のジルイ／東三河平野西部のイットウ／東三河平野・渥美の同族 御津町上佐脇の「八社八苗字」	512
(一)	上佐脇の村落構造／イットウと「八社八苗字」／小社の伝承と由来譚／小社の祭祀と法印	516
二	渥美半島の寝宿と若者	
(一)	渥美半島の寝宿の概要	516
(二)	寝宿の習俗／宿親の性格／教育機関としての寝宿／宿親と宿子／ムスメアソビ	521
(二)	寝宿の具体事例	521
(二)	池尻のヤド／江比間のヤド／堀切のヤド	521
第四節	三河の同年と厄祝い	
一	同年組織の活動	
(一)	同年の結成	527
(二)	同年の呼称と名称／同年結成の単位／同年結成の契機	527
(二)	同年の組織と交際	531
(二)	同年の規約・役員／同年の会計と集会／同年の交際／親睦旅行／同年と葬礼／同年の追甲会／ その他の交際	531
二	厄祝いの行事	
(一)	厄祝いと厄除け参り	538
(二)	厄祝い／前芝の厄祭り／厄除け参り	538
(二)	振舞いと奉納	543
(二)	正月の接待／神社への奉納／厄年と祭り	543

一	妊娠	588
	帯祝い／安産祈願／妊娠中の生活と禁忌／ヨビダシ	
二	出産	592
	(一) 出産	
	出産の場所／出産／座産／産湯と後産／産の神／母乳／産後の食事	
	(二) 産の忌みと祝い	599
	ウブヤでの出産／出産と別火／生理とコヤ・別火／ユゾメ／七夜／出産の祝い	
三	成長	606
	(一) ウブヤアケと宮参り	
	ウブヤアケ／宮参り／初客	
	(二) 成長の祝い	610
	初節供／初誕生／氏子入り	
第三節	死者を送る	613
一	死から通夜まで	
	死の予兆と人魂／遺体の安置と死のまじない／通夜／湯灌／死装束／棺と納棺	
二	葬式と互助	618
	(一) 葬儀の互助	
	地縁による互助／同族による互助／宗派の縁による互助／死の知らせ／葬式の食事の支度／ 葬具の製作	
	(二) 葬式	625
	出棺／葬列／葬式	

三 葬法と墓制

- (一) 土葬と墓制 628
 - 地取り／穴掘り／埋葬／奥三河の墓制／神に転換する墓／両墓制
- (二) 火葬と墓制 638
 - 火葬／骨あげと納骨／無墓制
- (三) 死後の供養 641
 - 念仏と四十九日／初盆／三十三回忌

第七章 年中行事

第一節 暦と年中行事 648
 旧暦と新暦／三河の年中行事

第二節 正月の行事

- 一 正月準備と年取 652
 - 新正月と旧正月／煤払い／餅つき／歳神と門松／注連縄／年取
 - 二 正月 662
 - 元日／仕事始め／七日正月／鏡開き・蔵開き／左義長／佐久島の八日講
 - 三 モチイ 668
 - モチイ／ニューウギ／二十日正月／初恵比須
- 第三節 春・夏の行事
- 一 春の行事 673
 - 節分／コトハジメ／春の山の講／初午／シカウチ／三月節供／弘法さん

二 夏の行事……………684

五月節供／祇園と天王／疫神送り／田扇祭り

第四節 盆の行事……………693

盆道作り／七夕／精霊迎え／精霊棚と供物／精霊送り／盆踊り／河原飯／ウラ盆

第五節 秋・冬の行事……………704

一 秋の行事……………704

月待ち・月見／神送り

二 冬の行事……………707

冬の山の講／亥の子／恵比須講／神迎え／コトオサメ／報恩講

第六節 農事と行事……………715

一 予祝儀礼……………715

モチイ／おためし

二 生育儀礼……………718

水口祭り／田植・農休み／虎が雨／雨乞い／虫送り

三 収穫儀礼……………724

八朔／刈上げ

第八章 信仰

第一節 寺院と神社

一 寺院と神社……………728

寺院と檀家／宗派の分布／神社と氏子

二 神事と祭事……………732

宝印祭と粥占祭／火鑽神事／菟足神社の風祭り／足助八幡宮の飾り馬／猿投神社の飾り馬と棒の手

三 廃仏毀釈と神葬祭……………735

廃仏毀釈と民俗／神葬祭のムラ／神葬祭と年中行事

第二節 諸信仰の展開

一 社寺信仰の諸相……………741

伊勢信仰／秋葉信仰／津島信仰／豊川稲荷信仰／立山信仰／富士浅間信仰／白山信仰／オイヌサマ／

霊場巡り

二 民間宗教者……………752

大峯行者と行者講／御嶽行者と御嶽講／ホウエンさん／三河万歳師

第三節 三河山村の信仰

一 土地に刻まれた信仰……………757

村の信仰景観／多様な信仰と祭祀単位／宗教者の来訪と御札信仰／行者さんと六部の墓

二 山村に生き残った民間信仰……………764

山の講／秋葉講／津島講と伊勢講／庚申講とジスジ／念仏信仰

三 家の神仏と神道化……………773

家の神仏／奥三河と神道化／盆行事と靈魂観

第四節 東三河農村と渥美漁村の信仰

一 禅宗の村と民間信仰……………780

村の信仰景観／禅宗優勢の地域／秋葉信仰／津島信仰／伊勢参りと豊川稲荷

二 庚申信仰とジルイ……………787

庚申講／オクリヨウ／庚申ドウギヨウとジルイ

三 家の神仏と盆行事……………794

家の神仏祭祀／地の神と法印さん／初盆供養

第五節 西三河農村の信仰

一 真宗門徒の村と寺檀関係……………799

村の信仰景観／寺檀関係とイットウ／村の開発と寺院の成立／門徒の村の特質

二 門徒の行事と民間信仰……………807

報恩講／オソウブツ／蓮如忌と御忌／秋葉と津島信仰／伊勢信仰と御田扇祭り／弘法信仰と霊場／

庚申と地藏

三 家の神仏と先祖祭祀……………816

神棚と仏壇／盆行事／無墓制

第九章 民俗芸能

第一節 奥三河の霜月神楽

一 花祭り……………822

謎の神楽・大神楽／花祭り／月の花祭り／花祭りの伝承

二 御神楽……………833

大谷の御神楽／消えた御神楽

三 参候祭り……………836

湯立と七福神／神楽と田楽が混在する祭り

第二節 豊作を祈る芸能

一 奥三河の田楽.....839

鳳来寺田楽／田峯田楽／黒沢田楽／黒倉と西園目の田楽／三河の田楽と芸能

二 豊橋と岡崎の鬼祭り.....851

豊橋の鬼祭り／滝山寺の鬼祭り／二つの鬼祭り

三 田遊び.....855

三河の田遊び／田遊びの起源と鑑

第三節 盆の念仏と芸能

一 念仏踊り.....859

ハネコミ／ハネコミの諸相／放下踊り

二 夜念仏.....869

綾渡の夜念仏

第四節 獅子舞

一 三河の大神楽と獅子芝居.....871

三河の大神楽／神楽と大神楽／獅子芝居／えんちよこ獅子

二 特色ある三河の獅子舞.....877

西尾の神楽獅子舞／賀茂神社の獅子舞

第五節 三河万歳.....881

三河の万歳／神道三河万歳／三河万歳の現状

第六節 人形芸能.....885

人形芸能と三河／飽海人形

第七節 神子舞と打ち囃子

一 神楽と神子舞

西三河の神楽／西三河の神楽殿と神子／東三河の神楽と神子舞

887

二 打ち囃子

打ち囃子／チャラボコ／チリカラ／打ち込み太鼓

892

第八節 三河の山車祭りと芸能

一 東三河の大山と芸能

大山車と祭り／稚児舞／獅子舞／隠れ太鼓

896

二 山車祭りと人形芸能

人形芸能と山車／知立祭り／碧南の山車祭りと人形／田原祭り

901

三 様々な三河の山車祭り

狂言と踊り舞台の山車／新城の山車／三谷祭りの山車／三好の山車

904

第九節 祭礼風流の芸能と造り物

一 棒の手

棒の手の発生／三河の棒の手

910

二 太鼓踊り

笹踊り／一人立ち獅子舞／笠踊り

913

三 大提灯と立物煙火

大提灯／立物煙火

919

四 馬と祭礼風流

馬の頭と合宿／おまん／馬トビ／吉良の馬行事

922

第十章 口承文芸

第一節 伝承の実態

一 昔話と伝説……………930

調査資料 / 昔話の呼称と形式 / 伝承事情

二 伝承の系譜……………933

清水家の伝承 / 佐々木家の伝承

第二節 昔話

一 動物昔話……………937

十二支の由来 / 猿とひきがえる / ポチとタマと狼 / 鷹不孝 / 時鳥と兄弟

二 本格昔話……………945

蛇婿入り / 桃太郎 / 屁こき爺 / 馬方山姥 / ズイトン

三 笑話……………956

亀淵のぬし / 鳥食い婆 / 姥捨て山 / 西行様と野糞 / 和尚と小僧

第三節 伝説

一 木の部……………964

駒止の桜 / 婆桜 / 羽衣松 / 竜宮の松 / 夫婦柵

二 石・岩の部……………967

おこり石 / 甌穴岩 / 白石さま / 赤子石 / 鸚鵡石

三 水の部……………970

竜宮井 / 八ツ井戸 / 比丘尼淵 / びわ淵 / かかあ淵

四 塚の部 973

社口塚 / 藤塚 / 境塚 / 七人塚 / 乙葉塚

五 坂・峠・山の部 976

本宮山と石巻山 / 浪人山 / 祇神山 / 座頭坂 / 瓶割峠

六 祠堂の部 978

田植観音 / 水弘法 / いぼ地藏 / 袖引観音 / 泥ぶち観音

話者・協力者一覧

愛知県史編さん関係者名簿

執筆分担

あとがき

写真・図版・表一覧

参考文献・資料一覧

索引